

FP まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

世の中は今、「コロナ、コロナ、コロナ！」で何となく重たい雰囲気に包まれています。ホームセンターやスーパーの棚からは、トイレットペーパーやお米が消えてしまったそうです。

そんな中、先日明るいニュースがあって、ホッとしました。それは、3月1日に開催された東京マラソンにおける、大迫傑選手（佐久長聖高校出身）の2時間5分29秒の日本新記録の達成です。

途中までは、素人目に見ても、解説をしていた瀬古さんから見ても、「大迫はダメかな～」という感じでしたが、終わってみれば日本新記録の日本人トップでゴール！

「マラソンと資産運用は似てる」と言われますが、人生も、資産運用も、ゴールするまで何が起こるかわかりませんね。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

春は子どもにとってもおこづかいが上がることを期待する時期ですが、おこづかいは以前と比べてあまり上がっていないようです。

40年後の日本のGDP・・・25%減

2月にIMF（国際通貨基金）が公表したレポートには改めて驚かせられました。以下
<https://www.imf.org/ja/News/Articles/2020/02/10/n-a021020-japan-demographic-shift-opens-door-to-reforms>、よりの引用です。

“日本では少子高齢化が急速に進んでいる。日本の年齢中央値は48.4歳であり、日本は世界で最も高齢化が進んだ国である。日本政府は、2060年までに労働年齢の人1人に対して高齢者が約1人存在することになると予測している。

同じ2060年までの40年間に、現在1億2,700万人である日本の人口は4分の1以上減少することになる。つまり、マレーシアやペルーの全人口に等しい数の人口喪失が起こることになる。このように急速な少子高齢化が進む日本は、世界の人口構造変化の最先端に立ちっており、経済面などで課題に直面している。”

公表されるGDPなどの数字も、1%減とか0.7%増、と言われてもピンときませんが、25%減、となると相当に国の様子や世界の中での位置づけが変わってくるのがイメージされます。

国の改革に期待すると同時に、特に社会保障については自分でできる備えはしっかりとしておくことが大切ではないでしょうか？



F P 松本相談センター
 ファイナンシャルアドバイザー
 媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250

090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後にに向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2019年12末	340,000	366,602	360,949	355,683
2020年1末	350,000	370,498	367,608	366,089
2020年2末	360,000	363,692	366,911	371,775

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

コロナショックで大幅下落

	日経平均	NYダウ	ドル円
1月末	23,205.18	28,256.03	108.35
2月末	21,142.96	25,409.36	108.07
月間騰落率	-8.89%	-10.07%	

2月の株式市場は、12日にNYダウが史上最高値の29551ドルをつけ、3万ドルの期待も膨らみましたが最終週はコロナショックから連日の大幅安になりました。

29551ドルの高値から14%の下落、最終週の1週間で12%の下落、月間でも10%以上の下落になりました。

新聞やニュースでは連日、経済や株価への影響が報じられ不安を感じる人もいるかもしれません。

ニュースなどでは、

- 起こった事の解説
- 当面の投資家心理
- 次の決算への影響

など短期的な値動きに対する予想や解説が多いように感じます。短期的な値動きで利益を得るための投資であればこれらの解説は有用かもしれませんが、長期の積立投資では別の視点が重要です。

この10年、もっとも世の中を変えたものの一つにスマートフォンがあります。スマートフォンが世に広がり始めたのはまさにリーマンショックの最中でした。

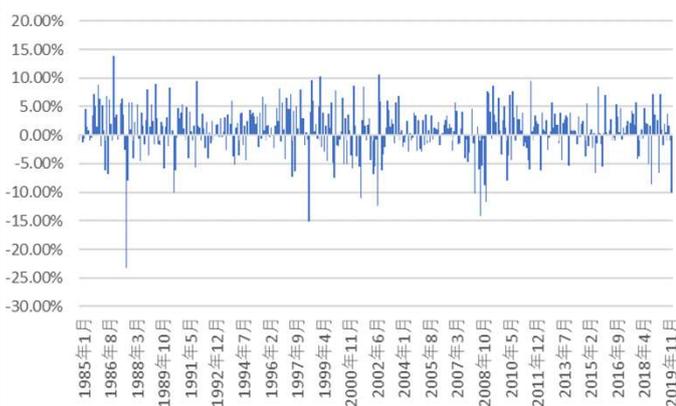
このような技術やサービスの開発はコロナショックの有無にかかわらず各企業がで行われています。長期投資ではこのような企業の活動が、将来の企業価値＝株主価値、につながるのを待つ、という視点が大切です。

当コラムは、商品選択の考え方、価格変動やニュースなどにどう対応するべきかについての一つの考え方をお伝えするもので、特定の運用商品、運営管理機関を推奨するものではありません。また、特定の商品の将来のパフォーマンスを約束するものでないことをご理解の上、ご覧ください。記載の情報（税制・社会保障制度・金融商品・マーケット・価格情報等）は発行日時点での情報に基づくもので将来は変更になることもあります。数値は公表されているデータに基づき当社にて計算・加工をしていますが、正確性を保証するものではありません。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

今月はNYダウの過去の値動きから今回のコロナショックにどう対応するべきかを整理します。

下図は1985年から2020年2月までのNYダウの月間の騰落率です。グラフが上に伸びているのがプラスの月、下に伸びているのはマイナスの月です。



改めてこうして見ると、株価というのは毎月上がったりがったり下がったりしているものだ、という事がわかります。10%以上の下落があった月は422ヵ月中9回でした。

Date	NYダウ	月間値幅	月間騰落率	
1987年10月	1993.53	-602.75	-23.22%	ブラックマンデー
1998年8月	7539.07	-1344.22	-15.13%	ロシア危機
2008年10月	9325.01	-1525.65	-14.06%	リーマンショック
2002年9月	7591.93	-1071.57	-12.37%	ITバブル崩壊
2009年2月	7062.93	-937.93	-11.72%	
2001年9月	8847.56	-1102.19	-11.08%	同時多発テロ
2008年6月	11350.01	-1288.31	-10.19%	
2020年2月	25,409.36	-2846.67	-10.07%	コロナショック
1990年8月	2614.36	-290.84	-10.01%	

今回のコロナショックも相当大きな下落であることがわかります。

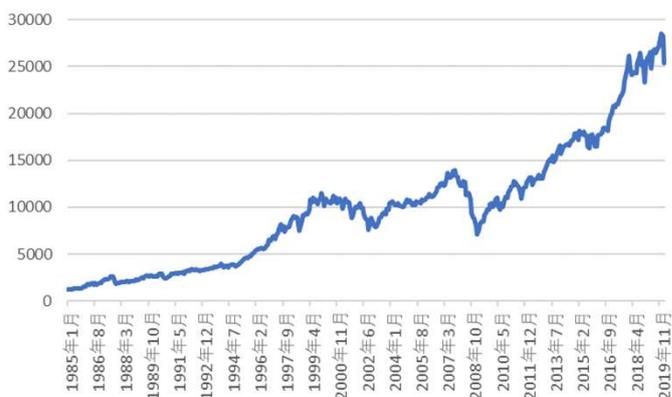
今後米国での感染者拡大が顕著になったり、経済活動の停滞により企業の倒産から金融機関の回収不能などにつながってくるとさらに大きな下落につながるかもしれません。

上記グラフを別の角度から見てみましょう。

株式投資では、株価の上がり下がりを手前に捉えることが大切だ、というようなことを聞くこともあるかもしれませんが。

ところが上に行ったり下に行ったりしたグラフを全部足すと+338%、月平均0.8%のプラスになります。

下図は同じ期間のNYダウの推移です。1985年1月に1300ドル程度だったNYダウは2月に大幅に下がったとはいえ25000ドルです。



このように見ると株価は、

- 日々上下している
- 時として大きな下落がある
- 数年に渡り低迷することもある
- 長期で見ると上昇している

という事がわかります。

時間をかければ、株式会社が稼ぎ出す利益の蓄積を得ることで十分に資産を殖やすことができる、という事を理解して、短期の値動きを予想することを放棄すると資産運用がとて「楽」になります。

春はライフプランが変わる時期でもあります。家計や収支などを確認して将来に向けて毎月どのくらい積立していけばよいかを検討しましょう。

自分の場合はどの商品で準備すれば良いか、などの確認をしたい場合にはお気軽にご連絡ください。

ちょっと気になるお金のコラム

こどものお小遣い、金額と推移は？

来月からの新入学や進級でお小遣いをどうするか
お考えの方もいるかもしれません。

下表は「子どものくらしとお金に関する調査」
https://www.shiruporuto.jp/public/data/survey/kodomo_chosa/の第1回（2015年）と第3回（2015年）
を比較したものです（金融広報中央委員会）。

小学生		2005年	2015年
低学年	最頻値	500円	500円
	最も多い金額帯	500～700円	500-700円
	次に多い金額帯	1000～1,500円	100-200円
	平均値	901円	1,004円
	中央値	500円	500円
中学年	最頻値	500円	500円
	最も多い金額帯	500～700円	500～700円
	次に多い金額帯	1000～1,500円	1000～1,500円
	平均値	812円	864円
	中央値	500円	500円
高学年	最頻値	1,000円	500円
	最も多い金額帯	1000～1,500円	500～700円
	次に多い金額帯	500～700円	1000～1,500円
	平均値	1,122円	1,085円
	中央値	1,000円	1,000円

金額は低学年、中学年が500円～700円程度、高学年になると1000円程度というのが一般的なようです。

青は上昇、黄色は下落、ですが10年経ってもあまり上がっていない、反対に下がっているところが多いのが気になります。

こどものおこづかいにも、給与の伸びが少ないなか税金や社会保険料などの負担増による可処分所得の減少のしわ寄せがいつているのかもしれない。

中学生・高校生はその傾向がより強く出ているようです。

		2005年	2015年
中学生	平均値	2,738円	2,536円
	最頻値	2,000円	1,000円
	中央値	2,000円	2,000円
高校生	平均値	5,590円	5,114円
	最頻値	5,000円	5,000円
	中央値	5,000円	5,000円

お小遣い帳はどうしてますか？

小学校低学年のお子様をお持ちの方はお小遣い帳をどうするか迷っているかもしれません。

そのような方は、金融広報中央委員会の「お金のしつけ」というコーナーをご覧くださいはいかがでしょうか？ ダウンロードしてプリントして綴じればお小遣い帳ができるようになっているのでとても便利です。

また小さい子どもだけでなく「10代のためのマネー入門」のような読み物（教材）もあります。

お金のしつけ



金融教育のすすめ

10代のためのマネー入門

今、家庭に必要な金銭教育 (PDF 1,796KB)

<https://www.shiruporuto.jp/public/family/training/>

ともすると、普段なかなかしにくいお金の話を、進級、進学、卒業などの機会を利用してするのも良いかもしれませんね。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎていないか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を申し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<https://fp-matsumoto.com/contact/>



FAX:050-3730-0380



個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内